

令和4年2月24日

保護者の皆さま

大阪府立登美丘高等学校

校長 山本 哲哉

『保護者・生徒・教職員による本校教育活動の自己診断』結果について(ご報告)

このたびは、学校教育自己診断にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本校は、大正13年に黒山高等実践女学校として産声をあげ、今年度で創立98年目を迎えました。これまで2.8万人を超える卒業生が巣立ち、各方面で活躍をしています。

現在、本校では、これらの歴史と伝統を踏まえながらも様々な教育活動において新しい伝統づくりに取り組んでいます。また、同時に、「学校教育自己診断」として、保護者・生徒・教育員を対象にアンケートを実施し、教育活動の改善に努めております。令和3年度のアンケートの結果及び分析がまとまりましたので、今後に向けた取組も含めてご報告いたします。

【1】 学校の概要

令和3年度は、2・3学年8クラス、1学年は少子化に伴い7クラスの合計23クラスでスタート致しました。前年より続くコロナの影響により、令和3年度もその多くの時期が、緊急事態宣言下での学校活動となりました。コロナでの陽性者の確認により、原則3日間の学校休業、その間は教育活動をストップするというルールで、例えば確認により急遽の一斉下校、授業も人権研修も当日中止、部活動では、陽性者も濃厚接触者もないのに、学校休業であるが故に、大会・演奏会の突然の辞退を迫られるなど、苦しい活動を余儀なくされました。これは、なりたくて陽性者になったわけではない当事者にも辛いルールでした。体育系部活動は、大きく時間を制限され、文科系部活動は活動そのものが禁止と厳しい制限が課せられました。その中で、ダンス部は、全国大会で3位と高い成績をあげることができ、書道部も連続して全国大会に選出され、水泳部、陸上部も近畿大会に出場する事が出来ました。修学旅行に関しては、70期生に関しては、昨年度より宮古島を予定していましたが、長崎・関西と計画を変更、実施の方向を探りましたが、結果ナガシマスパーランドとネスタリゾートへ宿泊なしでの実施となり、悔しい思いをさせてしまいました。学校祭も学年別の実施となり、最高学年の70期生にとっては忸怩たる思いであることが推察できます。そして10月下旬から一旦感染が収まり、71期生が伊豆・熱海方面への修学旅行が実施できたり、文化祭・体育祭に保護者にお越しいただけたりしたこともあり、70期生にとっては、余計悔しかったことでしょう。しかし一方で、厳しい環境の中で、工夫と努力を行う事で、生徒は、たくましさを増し、前を向いて進んでいる手ごたえをつかんでいます。育成生徒像である、登美高生は「強いから優しい」を実現するには、逆に良い機会であると考え、日々教育活動を進めております。

【2】 学校教育自己診断アンケートの結果について<(対R2、対R1)の比較>

【生徒】肯定回答平均81%(R2 84%、R1 79%、H30 74%)と微減

過去3年間、5ポイントずつ上がっていた肯定的な回答が、今年度は3ポイント減少しました。学校に行くのが楽しい87%(R2:88%、R1:89%)安心して学校生活を送れている93%(R2:92%、R1:91%)学校の規則をよく守っている97%(R2:96%、R1:96%)と基本的な満足度は高位安定していますが、学校概要で報告しましたように、コロナ禍も2年目に入り、緊急事態宣言下で部活動ができなかったり、3年生は修学旅行に行けなかったり、体育祭を全学年で実施できなかったりして、学校生活に対する不全感が個別文章も含めて多々ありました。コロナの下で、十分な高校生生活を運営する努力がさらに求められていると認識しています。

【保護者】肯定回答平均 83% (R2:83%、R1:81%、H30 79%)と横ばい

登美丘高校に進学させて良かった 94% (R2:92%、R1:91%) 学校に行くのを楽しみにしている 89% (R2:84%、R1:86%) 学校には「仲の良い友達がいると言っている」96% (R2:93%、R1:93%) と高位安定して評価をいただいています。一方でギガスクール構想の期待が、個別文章で多く、しっかりと前に進めていくことが大切と感じています。

【教職員】肯定回答平均 86% (R2:86%、R1:85%、H30:85%)と横ばい

全体的に高位ですが、学校行事や校務分掌等において、Plan (計画) Do (実施) Check (点検) Action (改善) が実施されている。58% (R2:68%、R1:61%) と低く、PDCA の必要性が認識されており改善点となっています。

【記述意見全般に関して】

まず、昨年に続きまして、コロナ禍における学校運営についてのねぎらいのお言葉を多く頂戴しました。誠にありがとうございます。その上で、特に 70 期生の保護者様から、修学旅行の変更に対する様々な意見を頂戴いたしました。今年から、返金に銀行手数料が付加されることになり、保護者様の負担減を目的に、キャンセル料の返金が 2 月の一度になりましたこと、説明文をお渡しはしていたものの、十分な説明とは言えなかったと反省しています。また、ギガスクール構想の前だおしで、クロームブックが、9 月に生徒に配布になりましたが、その利用方法への期待のお話を多く頂戴いたしました。オンライン授業のみならず、生徒一人ひとりの個別最適な利用手法について、継続して取り組んで参ります。

ICT活用も含め、全教職員が偏りなく上質の教育を履行できますよう努力して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【3】 第三者による評価

学校運営協議会(委員構成: 大学講師(会長)、地元中学校校長、地元自治会会長、学習塾校長、PTA 会長、同窓会会長)
<第1回> 令和 3 年 6 月 22 日(火) 14:00~16:00 令和 3 年度学校経営計画・100 周年、授業視察等
<第2回> 令和 3 年 9 月 11 日(土) 緊急事態宣言下のため書類開催(オンデマンド説明)
<第3回> 令和 4 年 1 月 25 日(火) 14:00~16:00 進路状況、3 年度学校経営計画評価、令和 4 年度経営計画承認等

【学校運営協議会からの提言】

継続するコロナ禍により、昨年に引き続き多くの制約を受けたが、逆にそれを、新たな「何か」を始める良いきっかけにもなったのではないかと、そのためにも今行なっている新たな取り組みをぜひ発展させていってほしい。また次年度の計画に合った「育成生徒像」において、やさしい、素直さに加えて「したたかに生き抜く力」を身につけて欲しいが、それには環境の力が大きいと思えるので、育成生徒像である「自制心・回復力を備え、主体的で挑戦心にあふれ、且つ思いやり・気配りのできる」という生徒が育つ環境づくりを期待したい。

【4】 今後に向けて

いよいよ、令和 5 年には創立 100 周年を迎えます。現在遭遇している大きな時代の試練を乗り越え、100 年を総括し、輝く次の 100 年のスタートになるべく、力強く、そして誠実に邁進して参ります。今後ともより一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。ありがとうございます。